

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

(EKUTEBIAN VOL.15 JANUARY 1997 EKUTEBIAN)

1



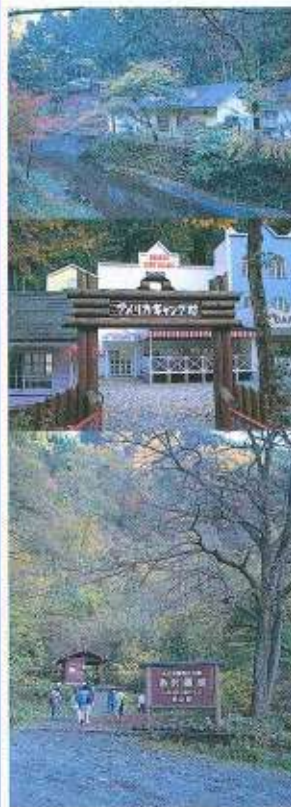
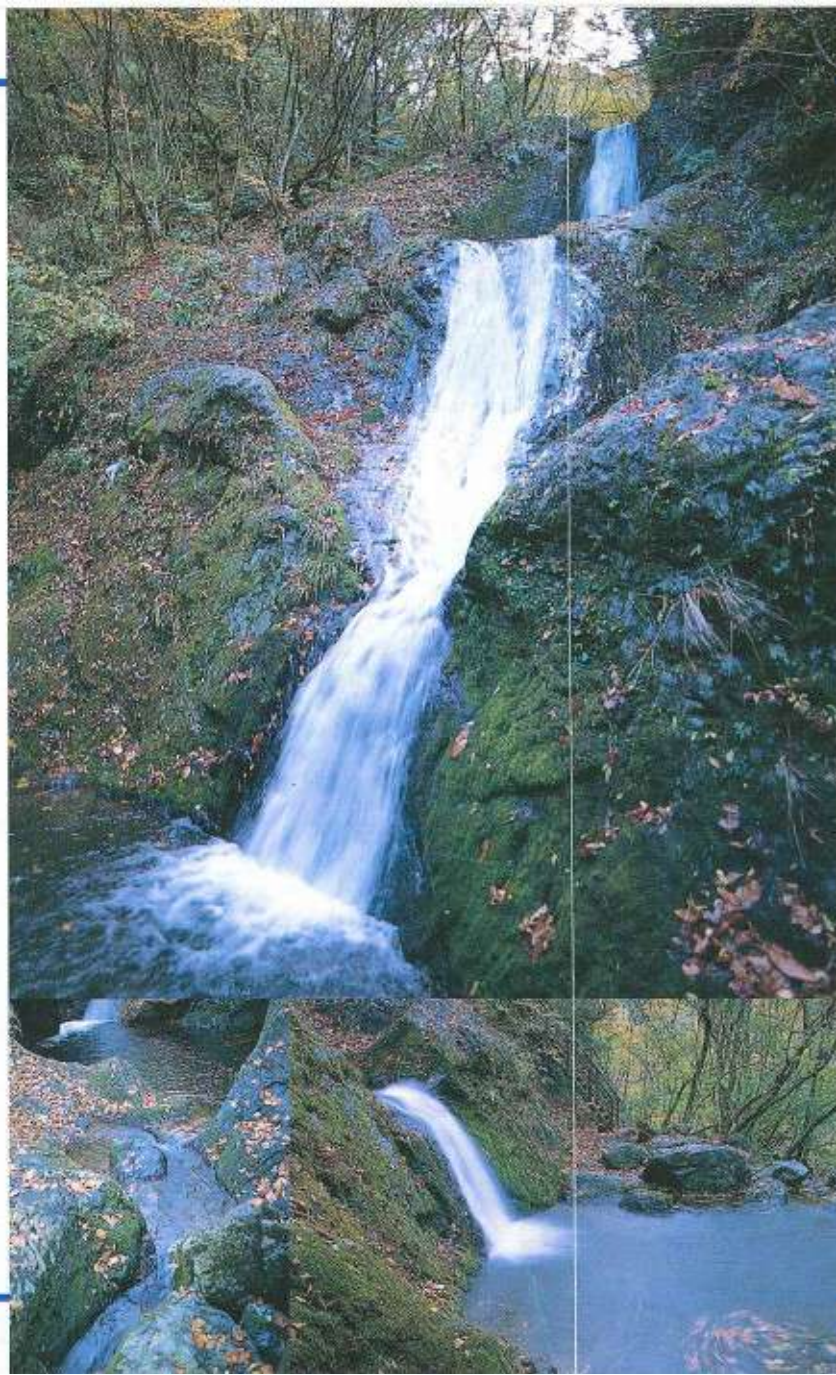
まい あーと ■木工芸「アクセントランプ」by 白井 建治

東京の滝

最終回

奥多摩町・三ツ釜の滝

JR青梅線「白丸」駅から奥多摩湖方面に向い、海沢橋をわたって林道へと入る。沢と林道が分かれるところが「海沢園地」。ここから林道と別れて大岳山への登山道に入ると5分程で海沢谷最初の三ツ釜の滝と出会う。25メートル三段からなる滝の滝壺は深くえぐられ、名の通り釜の口を開けている。滝壺には、冷たい水に運ばれてきた落葉がゆったりとダンスを舞いながら冬の到来を告げていた。



林道の途中にあるアメリカキャンプ村。ここから滝まで徒歩で1時間程。海沢橋を渡りキャンプ村の案内板に従って進む。

撮影：中村 伸

個性、鮮やか!

第12回ベスト立川人・展'97開催

今年も『立川人・展』の季節になりました。日頃のえくてびあん活動で、私たちは素晴らしい個性の立川人に、たくさんお会いして参りました。その方々に焦点を合わせシャッターをきった写真の数々立川にこんな人がいたのか……この街に住む幸運を、皆さまと共に味わいながら1997年の幕開けとしたいと存じます。どうぞ、ごゆるりとお観覧ください。

期日: 正月14日(火)~22日(水)
 於: 駅ビル・ルミネ 6階
 ルミネギャラリー

●6階平面図



KIDDYLAND ルミネギャラリー 世界堂



篠 武士さん

鮮やかな手つきは、クロウトも舌を巻く手品の数々



青木彰信さん

国際舞台で活躍、'96パラリンピックで2つの銅メダル



立川錦囃子連

東京都祭囃子コンクール'96年度優勝



三田鶴吉さん

勲五等双光旭日章受章。"利他"に息づく三田精神に花



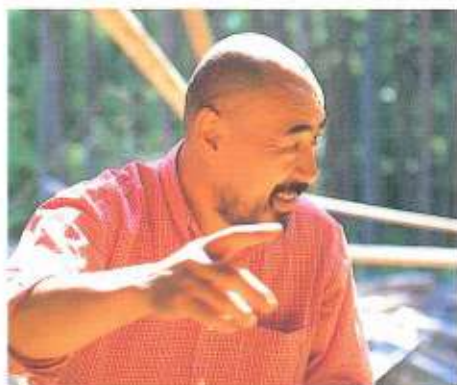
栗原真奈美さん

錦町に在勤の'96ミス立川、'96年の花



森田恵祐さん

本格的 Bar man を問われたら、立川にこの人あり



竹内洋介さん

そば屋はそばを打つだけか。いやいや人生、もっと大きい



池畑泰夫さん

立川市民映画祭で映写機を回し続けて10年



宮内信夫さん

立川生まれのミニテニス、実力で勝ちとった東京大会優勝



大久保 晋さん

住民と同じ目線で地域に取り組む"駐在さん"

絵・文 中西 章 (若葉町)

【ミツバチ】

膜翅目ミツバチ科

絵は働蜂の顔。下方には長く伸びた筒状の口があり、花蜜を吸う時以外は内側に折り畳んでいる。その両側にある大あごは、巣造りや戦う時などに使うだけ。頭の両側の複眼は形や動く物を見る。ひたいの上の方にある三つの小さな単眼は、光の強弱をかんじる。触覚は匂いや味を感じ、お互いの情報交換に使う。頭の中に秀れた脳があり、十数キロ以上の遠くの花の位置を憶え、帰巣することが出来る。

巣造り、幼虫の世話、花粉や蜜集めなどの肉體労働はすべて雌である働蜂が行う。女王蜂は産卵だけ、雄蜂は交尾するだけで、全く労働はしない。